

令和7年度 学校運営方針

長野県長野ろう学校

目指す子ども像	目指す学校像	目指す教師像
○ことばを大切にする子(言語力) ○目標をもつ子(学力・探究力) ○自分から発信する子(社会性) ○あきらめない子(心身の健康) ○人を大切にする子(人権尊重)	○一人ひとりの子どもが仲間と共に安心して学ぶ学校 ○子どもがもてる力を最大限に発揮する学校 ○子どもの夢と可能性が広がる学校	○幼児児童生徒の気持ちを大切に、その子の成長を促す教師 ○子どもがわかる授業、力を伸ばす授業を常に目指す教師 ○きこえとことばの専門性を求め共に認め合い、高め合う教師

学校教育目標

美しい言葉 豊かな心 元気な体

教育方針	経営方針
子どもが日々の活動に目標をもち、達成感を積み重ねる教育活動の充実と共に、ことばに立ち止まり、考えを深め、自分から動き出す力を育成する	様々な経験や実績をもつ職員がその個性を生かし、「子どもの成長と安心」のために協働して業務を推進することで学校教育目標を達成する
教育の重点	経営の重点
○「わかる授業」を通して自ら学ぶ意欲を高めるとともに、学びを深めるための思考力、判断力、表現力を伸ばし、確かな学力を育成する ○子どもの発達に沿った言語活動の充実を図るとともに、全ての教科において「言語と思考」を高める教育活動を推進する ○幼小中高で連携し、社会に参加するために見通しをもったキャリア教育の充実を図る ○互いに認め合い、自己肯定感を高める活動を積極的に行う ○個別の指導計画を元にした指導と評価の一体化を積み重ねるとともに、教育効果を高めるためのICTの活用を進める ○幼児児童生徒の力を伸ばす専門性の向上を図るため、研究や研修、授業実践に取り組み、授業改善を図る	○R8年度関東聾学校卓球大会(主管)、R9年度 関聾研定例研(主管)に向けて組織的に取り組む ○地域や関係機関(医療・福祉・企業等)及び卒業生・ろう・難聴者との連携を深める ○具体的場面を想定した危機管理体制の構築と、地域と連携した防災・安全教育を進める ○東北信におけるセンター的機能(教育相談・通級指導・きこえの教室等)の発揮と継承に努める 長野県特別支援学校の重点項目 ①すべての児童生徒に対し、一人ひとりのニーズに応じた教育を提供 ②特別支援学校の専門性の向上 ③地域や企業の方との協働の学びの充実 ④地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実 ⑤幼保小中高における特別支援教育の向上を支援

令和7年度の重点

- ことばに立ち止まり、ことばにこだわり、ことばを大切にした教育活動の充実
- 子どもたちの「たのしみな時間」の検討と日課や教育活動の見直し(部活検討含む)
- 職員一人ひとりの経験や専門性を生かした「個人追求テーマ」による実践

学校研究テーマ

こどものことば こどもの考えを中心にした深い学び